

授業科目名	社会福祉Ⅱ	担当教員名	山下 智佳子
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目	施行規則に定める科目区分等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	「社会福祉Ⅰ」の授業を踏まえ、社会福祉の意義や理念を理解し、社会福祉の発展過程と今後の展望について学ぶ。社会福祉の対象と主体、多様化・複雑化する福祉ニーズを理解し、福祉サービスの提供体制とともにサービス評価の方法や利用者保護を学ぶ。さらに、社会福祉の担い手について、専門職制度や福祉人材のあり方について考える。		
到達目標	1. 現代社会における社会福祉の意義を説明できる。 2. 社会福祉の発展の過程と方向性について説明できる。 3. 社会福祉の制度や実施体系等を踏まえ、社会福祉の現状と課題を分析できる。 4. 社会福祉従事者の現状や専門職制度を理解し、連携の重要性を知る。		
テキスト	「最新 保育士養成講座 第4巻社会福祉[改訂1版]」山縣文治・鶴宏史 編著, 2022, 全国社会福祉協議会		
参考書・参考資料等	「図解でわかる ソーシャルワーク」鈴木孝典・鈴木裕介 編著 (中央法規) ほか、授業内で適宜紹介、配付する。		
成績評価の方法	授業参加態度 : 15% / 課題シートの提出 (毎回) : 45% / 理解度・到達度チェック : 40%		
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、提出授業時に配付した資料とテキストで、毎回復習しておきましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。また、日ごろから、社会や社会福祉に関するニュースなどにも関心をもって、授業に臨んでください。 オフィスアワー : 授業終了後 (研究室)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション	1	
第2回	社会福祉の理念	1	
第3回	社会福祉のあゆみ/現代社会と福祉ニーズ	2	
第4回	社会保険と社会福祉	1,2,3	
第5回	ライフサイクルと社会福祉	1,3	
第6回	福祉サービスの提供と機関連携/利用者保護	1,3	
第7回	社会福祉の法制度/実施体制	3,4	
第8回	理解度・到達度チェック① 社会福祉施設	3	
第9回	社会福祉の担い手/福祉人材のあり方	4	
第10回	相談援助の方法と技術	3	
第11回	障害者支援 (家庭支援) ①	3	
第12回	障害者支援 (家庭支援) ②	3	
第13回	発達障害者支援①	3	
第14回	発達障害者支援②	3	
第15回	理解度・到達度チェック② まとめ	1,2,3,4	